

BMWをもっと快適に!

Expand



AT-VDM1C

本体価格 ¥13,200(税込)

コンポジット映像信号を0.5秒遅延を掛け音声を早めるユニットです。

第7世代iDrive車両にAVインターフェイスを使用して外部AV機器視聴時の音声遅延を映像を遅延させる事で同期を合わせる為の製品です。

コンポジット映像信号を0.5秒遅延させるユニットです。

第7世代iDrive車両にAVインターフェイスを使用して外部AV機器視聴時の音声遅延を映像を遅延させる事で同期を合わせる為の製品です。

● 当製品について

BMWの第7世代iDriveではヘッドユニットがMGUといわれるユニットになりました。

純正モニターへ外部AV機器(後付け地デジなど)の映像を映すにはAVインターフェイスを(AT-DEM710PUなど)

取り付けすることで可能となります。第6世代後半の車両から音声外部入力(AUX)が無くなり、外部音声を聞くにはFMトランスミッターでの入力が純正USB経由での音声入力しか方法がありません。

USB経由での音声入力は、以前のNBT-Evoとは異なりMGUユニットでは映像に対する音声が若干遅れる事象が起きています。

これはMGUヘッドユニットのUSB音声処理の限界でもあり、MGUヘッドユニット内での音声再生処理に掛かる時間の分の遅れとなっています。因って現状、映像に音声を同調させることができません。

この音声の遅れを映像を遅延させることで映像と音声を同調させるための商品が当製品AT-VDM1Cです。

映像信号に遅延を掛けるにはアナログ映像信号を変換して遅延処理し、再度アナログ信号に戻す為に画質に劣化が生じてしまいます。この変換時に起きる量子化劣化は避ける事は出来ないのですが、これを最小限に抑える為に本来高価な製品となっております。

当製品は低価格ながら最小限の画質劣化は抑えられるように開発致しました。

実際に当製品経由の映像と経由しない映像を観比べても映像の劣化がほぼ判らないレベルを実現しています。

また、EMC対策も万全で地デジなどの受信感度に影響を及ぼす事もありません。

製品仕様

本体サイズ	100mm × 62mm × 22mm(突起部含まず)
本体重量	180g
消費電力	約5.0W(基本動作時) 0.01W以下(スリープ待機時)
動作温度範囲	-10℃～+60℃
保証期間	製品出荷日より3年間

製品付属品

- AT-VDM1C本体
- 電源ハーネス
- 取り扱い説明書
- 保証書

販売代理店

artack
assist your comfortable BMW life

開発/製造 **株式会社エイタック**

〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町558 1
TEL.045-595-1730 FAX.045-595-1733

URL : <http://www.a-tack.net/>